836
209
3

萇草年録

不懲迷語

百十六

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

不徵迷語

五

国立国会図書館　　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

不懲迷語並外録之五

己巳九月十月

目録

一 前記 八月九日 九月四日ヨリ五ノ一

二 大藏者 奥野吉弥 上甘井善平 文通九月五日 八月九日ヨリ

三 前書附記

四 時事雜說二 自九月七日 至重陽

五 西版籍奉還ヲ不願十四藩

六 雜說之三 自九月十二日 至仝二十日

七 在東京横田數馬答武敎書

八 須坂侯四條伺並後日答書

九 六月十九日ヨリ朝鮮ノ四文

十 芝寺内英學一吟ノ前書

十一 三月旬擬募說

十二 土州老侯戴文并數唄

十三 狂詩

十四 須坂北征人數凱旋後行賞等

十五 靜岡藩国本操 八月廿七日分 高郷里支配

十六 千石十分之一ヲ五十石四十五俵見渡割合調

十七 神駿南行枝四首

十八 雜紀 前之四 九月九日ヨリ 仝晦日

十九 下野吹上藩八士賜自尽并辞世詩歌

大正 5.27 購求

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　ガラス使用

㉙ 皇政復古功臣三條公以下賞典詔書及文例
㉚ 紀時事後五 自十月四日至廿日
㉛ 秘說
㉜ 更改通稱大概
㉝ 記聞之六 十月廿日吾洲大坂 天皇種痘示布告 交易說
㉞ 小諸知事牧野従五位謹慎謝書
㉟ 九州日向典錄
㊱ 加藩神保氏系譜
㊲ 金神保石見兩氏系譜
㊳ 若松在勤海沿海守衛 九月十三日仰 公晩朝達
㊴ 十月五日六日藩官吏任叙褒免列名
㊵ 在東京横數事達御尋書
㊶ 常山筆記上毛岩鼻縣学校ホシヤホ
㊷ 大村益次郎卿小傳
㊸ 紀聞之七 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
㊹ 公中村氏系譜

㊺ 紀聞之八 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
㊻ 傷大村兵部大輔者追捕之令
㊼ 紀聞之七 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
㊽ 公中村氏系譜

神尾藏

㊾ 紀聞之八 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
㊿ 傷大村兵部大輔者追捕之令
(51) 紀聞之七 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(52) 公中村氏系譜

神尾藏

(53) 紀聞之八 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(54) 傷大村兵部大輔者追捕之令
(55) 紀聞之七 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(56) 公中村氏系譜

神尾藏

(57) 紀聞之八 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(58) 傷大村兵部大輔者追捕之令
(59) 紀聞之七 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(60) 公中村氏系譜

神尾藏

(61) 紀聞之八 十月廿一日 宮内卿 話語ホ
(62) 傷大村兵部大輔者追捕之令

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

八一屋三家葬祭ノ差一ノ安キヤ且差ノ作ラヌ外
ハ公祭ノ為ノ初壇ヲ作ラシム事者事務モ一ノヨシ各宅ニ
依人ヲヲ葬芸ヲ刑除スルヤ埋没セラレンコトヲ
一楊邪三田九鬼藩士大方脱走ヲ教皆殺セント非ニ天ヲ教ヲ信スル者多皆其徒ニ入ラント
云祈禱ノ事ヲ朝廷ヨリ召ルヽ有ラ随従シ之ヲ公設人ホ僅従ニセラルヽモノカラ
一[illegible]

諭書第弁三ニ表金之丞ノ輩ニ官吏無届之外
帯刀ヲ廃スルハ随意タルベキ事又官吏ト雖モ
指ヲ褒スルハ随意タルベキ事ニ候此旨
洽ノ到ラ創ムヘシト云
邦人帯刀ヲ停禁スルヲ英國ノ制ノ如ヲシト云設ヲ発スル者アリ語ヲ設人之

ヲ用スルニ因リ設ヲ廃シ其ニ従ヒ之ヲ逐ヒ其ニ従ヒ之ヲ逐ヒ
ヲ役職ヲ称ル如ク上二条ノ論ノ発スル者何如トスルヤ
一去月九八日佐久郡高細十八ヶ村惣部ヒ論ニ和来ナラヽ小論ノ一事ノ
ヲ江田釈ノ者ヲヲ在ニハ当釈ヲ一ノ変稱ヲ云ヲ新ヲ発ヲ
引移橋ヲ四ニ防ントヒ乱人ハ小論ノ在ヲ来迎ヒ小論新町口ハ大砲ヲ備ヲ
備ヲ為シ字ヲ中ハ上田ヒ割リテ市財新具ヲ行以ヲ路橋ヲ
ヒ村民ヲハ中ノ条ニ和来信田宮ニ集ヲタル上田ヲ大宝ニ
右ハ方仲間七五消者全ヲ用ヲヲ行ヒ八日九ノ夜
一本陣中朝廷ヲ指ヲ徴ヒ者五十人ヲ引ヒ例ノ如ニテ来ヲ示ヒ
一徳川祖廟已ニ其許久能有ラヒ日光ヲ豪殿ヒ移シテ豊ヒ國廟ヲ一ノ作ヒヲ設
記ヲ其実ハ日光ヲ蔵金貨宝物ヲ利セントスルヲヒトソ又紅葉山廟ヲ同

八一尾三家葬祭行ノ差ニ一ノ安ヶ也差ヲ作ル子弥参
ハ公祭ノ為ニ初壹ヲ作ラシム事者ヶ事務モ一ノ如ク
併人ヲ以テ葬芸ヲ川隆スルヤ埋没セシメンコトヲ
一 振弧三田九鬼藩士大方脱走ヲ教皆殺ヲ、ハ派ヲ天ヲ教ヲ信ス
云析等ノ事ヲ朝廷ヨリ召ニ応ジ随従ノ途ニ就ク
一 薩州士中井弘蔵 建設、 皇后ハ天子ノ体ヲ奇スルノ理ナシヲ本朝歴代臣下
ノ女ヲ立テ后トスルハ理ノ不協ノ中宮ヲ養シ英国王女ヲ迎テ后ト
傚ヒ景倫ハ此ノ後ヲ教ヲ千百ヲ十リトス云
一 或ハ天子ヲ名トシ万積リセハ一ノ私ハ理ヲ皆ヲ必ス人ヲ得ヲ任改革ヲ施ス共和政
治ノ制ヲ創ムベシトス云
邦人皆刀ヲ停禁スルヲ英国ノ制ノ如クシトス云設ヲ養スル者アリ語ヲ設人之
ヲ用スルニ国職ヲ以テシ当設院中席ヲ共ニ坐セサルヲ以テ其ヒ逃ヲ免ケンコト
一 去月九八日佐久郡ヲ内ノ村ヲ一揆蜂起シ数千ノ衆ヲ
多ク江田ノ釈ノ者ヲ有在ヲ、ハ皆ヲ一ノ襲撃ヲ以テ
引移ラントヲ田ニテ防シトル乱人ハ、ハ悔ヲ在テ来迎ヲ
偏ヲ為シ子中ハ止田ヲ割リテ市財新貨ヲ仁有ヲ以テ
し村民ヲ、ハ中ノ条ニ和来信田宮ニ集ヲ、ハ止田ヲ大宝ニ
右ハ幸和方仲河七五衛着多ニ所用ヲ、ハ行北ヲ九ノ
一 李清中朝廷ヲ指ヲ徴ニ者五ニ人有テ例ニ祝シテ
一 徳川祖廟已ニ其封田久能有ヲ以テ日光ヲ奉殿ニ移シテ
記ヲ其実ハ日光ニ所蔵ノ宝物ヲ利セントスルヲ以テ又紅葉山廟ヲ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

九月

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

馬場腐人及
高野友喜翁 大義着

以来状況ヲ上陳セヨト仰セ蒙リ候ニ付キ御表ニテモ御差支ノ向ハ
ナキヤウ細ヤカニ申シ述ベ候ニ付別紙ニ認メ通達シ候処ノ如ク
ニ御座候ニ付キ御届ケ申シ上ケ候ニ付キ御承知ノ上ハ速ヤカニ
ご神保ハ古ノ如ク後見ノ用ニ従事イタシ候様ニ致シ度ク
義ニ御座候ニ付キ御届ケ申シ上ケ候ニ付キ御承知ノ上ハ速ヤカニ
可然ご取計ヒ下サレ度ク此ノ段モ

八月十三日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

別紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

修業私塾規則を定むる者は故なく其会の件名を改むる事を得ず

一 私塾の教員生徒又は其親戚の外他の特件の者を塾に寄宿せしむる事を得ず

一 私塾の教員生徒は自治五年以上の者と雖も故なく屯集して徒党を結ぶ事を得ず

一 私塾の教員生徒は又他の政談集会に会し又は之を主唱する事を得ず

一 私塾の教員生徒は必ず姓名を給し寄宿人は其寄宿の年月日を記し置くべし

一 私塾の教員生徒に寄宿する者は必ず保証人を立つ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

嵯峨天皇以前
大極殿ノ朝儀
萬機親裁ノ時
左右大臣皆吏
務ヲ管リタリ
坐ヲテ退ニ論
スルヲ以テ公ノ
如キ況宮ハ本
朝ニ於テヲヤ

太政官事ヲ統ル可キ
大臣ヲ闕ク（有ラ）ハ或ハ二ヲ置（カ）ル
人ヲ闕ケリルハ少ヲ
殘ノ如シ
萬ノ大小ノ政事ヲ
人ヲ闕ケリルハ少ヲ
殘ノ如シ
萬ノ大小ノ政事ヲ
太政官ニ歸シ
大小ニヨラス

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

一 九月十二日 在東京多年ノ名士ヲ一氏ノ刑ニ処シ事重キニ於テハ名ノ立ツ所ヲ一ニスルヲ以テ

名ヲ録スル者多シ一ト云ヘドモ其ノ名ヲ録スル者ハ一ト云ヘドモ其ノ名ヲ録スル修事ハ一ト云ヘドモ其ノ名ヲ録スル者ハ一ト云ヘドモ其ノ名ヲ録スル者ハ一ト云ヘドモ其ノ名ヲ録スル者

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

九月十五日

一 三田二ては郡役所・学校・病院・監獄・裁判所・警察署・郵便局・電信局・銀行・会社・商店・劇場・料理店・遊女屋・貸座敷・寺院・神社・教会堂・墓地・火葬場・牛馬会社・牛馬市場・牛馬屠場・牛馬病院・牛馬医学校・牛馬医学教師・牛馬医学生徒・牛馬医学生徒寄宿舎・牛馬医学生徒食堂・牛馬医学生徒浴場・牛馬医学生徒便所・牛馬医学生徒墓地・牛馬医学生徒火葬場・牛馬医学生徒解剖場・牛馬医学生徒標本室・牛馬医学生徒図書館・牛馬医学生徒運動場・牛馬医学生徒遊歩場・牛馬医学生徒休憩所・牛馬医学生徒食堂・牛馬医学生徒浴場・牛馬医学生徒便所・牛馬医学生徒墓地・牛馬医学生徒火葬場・牛馬医学生徒解剖場・牛馬医学生徒標本室・牛馬医学生徒図書館・牛馬医学生徒運動場・牛馬医学生徒遊歩場・牛馬医学生徒休憩所

一 三田二ては郡役所・学校・病院・監獄・裁判所・警察署・郵便局・電信局・銀行・会社・商店・劇場・料理店・遊女屋・貸座敷・寺院・神社・教会堂・墓地・火葬場・牛馬会社・牛馬市場・牛馬屠場・牛馬病院・牛馬医学校・牛馬医学教師・牛馬医学生徒・牛馬医学生徒寄宿舎

二十日

故大谷ノ籏ヲ乱サヌヨリ敗後ニ運搬ニ方ル彼國ノ役ニ立ル故然レドヤ○幸ニ降参ヲ許ス
ヨシ柏崎迄ヨリ上ケ行ケリ川ヲ隔テ塩梅ヲ奪ヒ刈ニ大ニ利ヲ可全作ケリ
一 領主岩村當ノ松平丹波守ヲ大目ニ被参ケ其ノ国ニ二万石ヲ北国ニ使ヲ此ニ
一 加州ノ内乱ハ七年ニ大目ニ被参ケ其ノ国ニ二万石ヲ北国ニ使ヲ此ニ
ヲ大砲ヲ以テ楯ヲ打ヨリ敵ヲ討ケルト云ヒ後ニ有増作ヒヨリ
頭ヲ列ネテ
一 九月十八日頃秋ニ
一 小諸ヨリ上田ヘ移ラレシ信濃川ノ地蔵堂ノ辺ヨリ掘テ柏崎迄ノ
一 早春教修者ニテ信濃川ノ地蔵堂ノ辺ヨリ掘テ柏崎迄ノ
ノ誤リ此回ニ一時修理ヲ加ヘタリト云ヒ名ヲ神保馬場新潟ニ行ケル
頃朝倉能登守ヲ
後ニ名ヲ利秋弟ニ
ヲ
ナリシト云ヒ迄ノ使ヒ村重新潟辺ヨリ海ヲ右新潟ヲ経テ
ニ柏崎ヨリ陸ヲ
一 ヨントコ田作ノ
米大根ヲ
一 去ル十二月大雪ニ上作ト云ヒ稲ハ出穂ヨリ九十日ト云ヒ
一 去ル十二月大雪ニ上作ト云ヒ稲ハ出穂ヨリ九十日ト云ヒ
全二十日礼服参殿ニテ奉命ヒリ○初メノ礼ノ時ハ大名ニテ夫ヲ両ニ一人減ヒ
一 大公之四家禄千二百表大夫人 直江大夫人皆ニ両俵ト定ケル由ニ寺領ヲ
大名ノ領ヨリ迄五千石ト云ヒ後ニ侍女宮ノ侍妾ノ侍ヲ中没ニ者仰ヲ受ケ
新屋ノ侍ニ侍ヲ屋葺銭ニ和ニテ都ヲ両ニ減シ利ヲ
表ヲ二ツ之四ツ銀ヲ以テ
ヲ侍従ニ侍従ニ

一千石十分一百石四百石
限ル云々
諏訪筑前守
諏訪
一中御番下村
一大村益次郎
一夜長英渡辺
声ヲ潤ス
一大村ハ斬福
話ス
(七)

一本伐又ハ忍ひ料理后ニ参り酒食ヲ相用ひるも不苦歟

一狩猟ニ而ハ歌妓舞女ハ呼寄るも不苦歟

一郎内ニ而ハ歌妓舞女ハ呼寄るも不苦歟

一本伐ニ而ハ歌妓舞女ハ呼寄るも不苦歟

右之通ニ候哉

五月廿四日

須坂侯伺

後日次第ニ可有之旨書取を以ノ答

何歟存寄之儀有之候ハヽ可申上旨ニ付

一筆啓上仕候

扨今日ハ御出ニ而御酒被下候ニ付

御家老衆ニ而ハ

御用人衆ニ而ハ

御留守居衆ニ而ハ

御勘定奉行衆ニ而ハ

御目付衆ニ而ハ

御小姓頭取衆ニ而ハ

御小姓衆ニ而ハ

御近習衆ニ而ハ

御医師衆ニ而ハ

御祐筆衆ニ而ハ

御右筆衆ニ而ハ

御表坊主衆ニ而ハ

御中間頭衆ニ而ハ

御中間衆ニ而ハ

御足軽衆ニ而ハ

御小人衆ニ而ハ

御厩衆ニ而ハ

御鷹匠衆ニ而ハ

御鉄砲衆ニ而ハ

御弓衆ニ而ハ

御馬乗衆ニ而ハ

御槍衆ニ而ハ

御長刀衆ニ而ハ

御歩行衆ニ而ハ

御船頭衆ニ而ハ

御水主衆ニ而ハ

御船大工衆ニ而ハ

御船手衆ニ而ハ

御船方衆ニ而ハ

御船奉行衆ニ而ハ

御船奉行衆ニ而ハ

御船奉行

之私故口上ニ申述ル事ヲ前後仕ル時ヲ以テ御取ニ入ル、被為入ル事ヲ今日書取ヲ以テ不顧恐ヲ奉申上ル山内容堂殿吉原之廻里ニ於テ参ル同席ニ於テ又秋月右京亮殿又大原中納言殿ヨリ将軍ヨリ赤坂溜沈端八百助ヲ料理店ニ参ル由ニ付テ廓内何事ヲ屋敷ニ於テ女ヲ呼寄ル由ニ付テ事ヲ申上兼ル得共右之事件盗賊ヲ不辨人ヲ目的トシテ故委曲ニ申上兼ル得共右之事件盗賊ヲ不辨人ヲ目的トシテ若若輩之諸侯近ル由ニ付テ疑惑ヲ生ジ家ヲ潰ス恐入ル次第且又恐入ル儀ニ付テ同書ヲ以テ仕ル儀ニ奉存候ニ付テ御国躰ニ関係ス存候ニ付テ同載言ル可仕ル存ル得共右之通リ被為仰付候ニ付テ事ヲ申上ル恐入ル儀ニ奉存候ニ付テ同書ヲ以テ奉申上ル恐ヲ顧ミス其筋ヲ取調ル事ヲ申出ル事ヲ存慮ヲ以テ御国躰ニ関係ス存

羅馬教学耶蘇教別也遥馬使寺不可曰耶蘇教

…此外ニ執心ノ儒ヲ修行ノ致言ヤ是迄佛ト漢ドノ学寮有之処洋学寮ヲ相
…而且英国ニ僧或人佛国ニ同志人ヲ遣リ外國宗門ノ修羽ヲ受シメ彼
…宗門蔓延ヲ日ニ為テ舎佛宗ニ合併シ我ガ宗門ヲ保全ヲ
…元来浄土宗ノ経文之中ニ彼ノ宗旨ヲ暗合セル者アリトテ
…宗旨ヲ引入レ洋学修行ノ外國宗門ヲ修羽スルヲ見込ノ
一真宗ノ僧侶有髪トモ妻ヲ娶ラヘシ素ヨリ当宗ハ聖徳太子ノ定ヲ継テウバソク本
…然ル処ハ有髪ヲ娶ル事勿ラントス云

(二)己三月上旬羅馬國使節攝海ニ来リ曰
皇國耶蘇道不ニ因テ軍艦ヲ指向ケントス朝堂議論ニ耶蘇ヲ用ヒ
皇國有志輩ノ憤怒ヲ蜂起シ天下騒乱ノ如シ佛蘭西トヨリ依テ攘夷ニ次詐
…度攘夷ニアラサレハ成フズトヤ訳ハ

…策ヲ定約書ニ朝敵ト軍器ヲ不可渡ト然ニ庄内ヨリ影レク玉薬ヲ壱万トヤ南部ヨリ五
千挺のミニールを壱ト云何ニ英戦ト云南部英艦ニ潜伏サセシヨリ右船将ハ仏蘭人ニテ
「アリキトン」トヤ云由

(三)狂詩

横政復古誤一新 虜勅宸綻偽平均 小才大好参與輩
不学安論議定人 六藩顔厚陋建白 三條腹腐為夷蕃
親征遊行曽無益 漫募用金萬民
金ヲ出ス者ニ佛ヲ与ミ上ケテ上ハ冥礼下ハ深ク
一何ノ訳ノ訳箱次其内ニ九有之文言ニ土州老侯備前侯ヲ初メテ屋々
超高ヲ修ル一條ヲ書記一海員ニ重キ役方ヲ媚好ヲ為ス事ヲ書ス

頸ヶ丁を其俤容堂侯ニ落出ス。あゝ由同侯是を見られ秋月侯、
一夜中ニ仰きて如何の事ありと尋ね見られ給ふのの文章ニ
さゞめ者しやぐ女子うるさくもあるかな
右唱を夫この遊宴樓ニてうたい唐めりとの事ゟ君何ぞ海を思ふ
つゝしみ極めて潔ゟ事右ニ三月中旬頃のより右唱を或人問ふ
御所ごやさゞめ御成でさる参朝矣ゟ内やめてその参候ゟ
それゆへ
トコトンコノラクゲサンガイコクシヤクキントウナサル
外国備金

一諸士以上ニ而須坂北征人数凱旋行賞
戦死之者ニハ金廿五両 但頭分已上ニ而品有次第ト云
士儀ハ廿切り
一版籍奉上之後満知事ゟ仰付ラレ漸ク知事格ニ
ヲ四ツ目結ト相称ト称ス云々
一東京ゟ呼ニ須坂ヨリ速ニ先稱制正ゟ参ニ近ク学校ヲ
知事格ニ出席ニ成リ其近ク一人ノ妙齢ノ女ニ成ル由
一ソノ後人ニ出セシ北村往ニ元綿内村ニ飛脚ヲ以テ渡セトセシ某カ子ニ母ハ江ノ産ノ由
経蔵幼年ゟ読書ヲ好ムトテ江戸ニ出シ十人衆内或読書家ノ隠居ニ託シ其隠居
ヨリ学資ヲ与ヘテ亀田後瀬ノ塾ニ入レタリ 須坂先侯モ後瀬ニテ毎出ノ為ニ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

十リタラン其内学資ヲ与ヘレ隠居ヲ殺レ侄為ニ可ト学業成リテ十ヶ年ヲ以テ
レ須坂ノ学問所教授職ニ命セラレタリ去ル年三至リ公議人ハ稍学力アル者ニ非レハ不純
トテ用人席ニ取立出セシカ議論イツモ端正特違ニテノ集談院ノ評判ヨロシク指ヲ屈スル
数人ノ中ヘよろ七分ハ門閥ノ愚人ノ出レ一旬ノ議論モ多ハ多クハ三就テ庸論ノ重リ
ヲ増ス一斐ノ補助タルノミトハ云ヘ実ニ一ノ冩

(由)静岡藩満岡蒹十郎ハ八月廿七日ノ御布告ニテ文通和 モニ九月十一ノ冩
業等当地秋作ヲ先ハ九分通実ニテ人気相替ル候モ無之ハ常節ニ玄米両ニ壱斗位ハ
得共新穀実ノ上ニテ下落ハ申ス迄モ無之候〇静岡表モ今比悪ノ候替ニ相
成勤番組ハ初メ者ハ一万人モ有之候ヘ共是迄之勤番ニ違ニ夫々ノ扶
持モ下ル筈ニテ〇ハ今迄之勤番組ハ被下ハ四ツ扶持方
ニ而高三十石已上 五人扶持 ハ千石以上四人扶持 ハ五百石以上三人扶持 ハ百石以上二人半扶持
十人扶持 八人扶持 七人扶持 六人扶持

ハ二十俵以上二人扶持 ハ二十俵以下一人扶持 ハ百石是ハ之者ハ一人半扶持
五人扶持 四人扶持 三人扶持
右之通ニ而屋敷ハ是ハ今般右等之通ニ増被下ハ四ツ扶持 ハ三十俵以上
上士 布衣以上 三十人扶持 中士 ハ四ツ目見以上 二十人扶持 下士 ハ四ツ目見以下 十人扶持
右三等未書之通リ増テ扶持被下ハ格別成ル事ニ而ハ無之ト申説ニ専ラ有之何モ一致
シテモ先ツ今迄之難渋無之在成不動ト申計之道相立ツ事ニ候
ロ田中奉行ヲ以テ田中幕組ニ頭ニ命ヘ〇ハ実ニ本西京詰ニ而ハ実ニ
生実ニ多クノ事ニ私ニモ実ニ数張ノ扶持成ル事ニ候ヘ共ハ仰ニ付ニ
人ニ与ヘ候ト云ヘ

(神)駿南竹枝十首内録四 中外新聞第五十四号所収 謹堂居士

豊沛蓬郷雲物郁、環城第地久為壊、宛来表竹馬当年跡、收涙細尋
創業初ノ

揣度後来謀未遑。身寫容在他鄉。嗷々食指貪如洗。欲學仙
家辟穀方。
百物缺如糊口艱。竹工漆作術差閑。全州佳産無多種得意誇
人只富山
乘除不解説分文。露面僅救生計窘。到處長卿窮犢鼻。當壚
見卓文君。

一千石十分之一分 五十石四十五俵之渡賀金調
千石 廿俵面四十俵
九百石 同 百三十俵弐分
八百石 同 百二十三俵三分七朱
七百石 同 百十三俵三分六朱余
六百石 同 百二俵三朱弐合余
五百石 同 九十一俵四分四朱余
四百石 同 八十俵弐分三朱余
三百石 同 七十一俵弐分余
二百石 同 六十俵三分三朱余

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

百石
九十石
八十石
七十石
六十石
五十石

玄米十二万八千六十七俵計三千八合四勺
代金十八万九千九百五十四両四分四十六文
一十五十 内訳
右十分一

ロ 五十表去汁余
ハ 四十九表八斗余
ニ 四十八表六斗余
ホ 四十七表四斗余
ヘ 四十六表 計汁余
ト 四十五俵

但十万七千七俵之

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

代金六百三十四万三千四百三十歩ニ当ル下ハリル

右ハ分

四千六百九十四万四千六百六十歩ニ当ル一

代金六千二百六十四万六千四百四十六ト

一本蔵済急務ノ儀ニ付、去ル寅年中、御勘定奉行ヨリ御触書ヲ以テ、御代官江被仰渡候趣ハ、其後モ度々御触書ヲ以テ、厳重ニ被仰渡候ニ付、村々ニテハ、百姓共ヲ始メ、名主・組頭・惣代ニ至ル迄、一同ニ心得違無之様、精々申聞候ハヽ、自然ト行届キ、御趣意ニ相叶ヒ候様ニ可相成ト、兼テ心掛ケ居候ヘ共、其後モ、猶又、御代官ヨリ、村々ニ於テ、

一 李蒲海急鈍ヲ私造スル者 千太物甘ル 有之大罰村犯人ハ板木ヲ陸ヲ捕縛又大英
寺ヲノ犯人ハ板木服刻ハヲタレ氏多鈔ヲ告遊ト陳スル由共ニ首領弥右ヲ
ロ土黄ヲ椿樹ト警者ヒヲ撃獄ス

一 李蒲子錦千名ヲ百名ヲ百名ヲ減スルノ法行ル、時ハ大坂高ノ分如斯大ニ減ル事
右服飾等迄何者ヲ以一人一日ニ六合老幼ニ一日ニ三合ヲ二合ヲ以下ノ扶持ヲ
ふの絵ヲ云ヲ以テ
混衣服住宅ヲ侍教儀ヲ一ノ迎ト不手ヲ唱ル者ヲ
告ヲ後ヲ
多代取ノ跡ヲ
ヲ
木ヲ生業ヲ
一 近日暴漏ヲ

宣庆殿藏書印

敷云ふ石ニトロしつゝ住るを望原村泉々の香味ゝ仰ぎ
二味ゝ水ゝ合ゝ
干後ゝ大黄水一 紙屋吟者ゝ或ゝ作ゝ湯ゝ礼ゝ頻ゝ
注入し沸騰スル 飲ゝ芽徹スルゝ
ヲ呑ムゝ
白砂糖適宜一
一の如

寝衣宿酔或 ゝ
ハ後吐気ヲ ゝ
吐用ル胸ヤスカ ゝ
シムル碗ニ一 其薄ゝ
杯ヲ ゝ
胸ヤケルニ一
昇効アリ

東京帝大文学士川合清丸著ノ傷寒論ノ倒ヲ改正シ病案ヲ附シ
敷後ヲ著ハス 緒言ニ曰ク余嘗テ漢法医ヲ廃シ
ヲ称セシ為 蒲生重章ヲ聘シ
一 木蘭清大矣ヲ用ル者ハ
ニ於テ

狂歌

寝ル時ハ ゝ
ニ ゝ
ヲ ゝ

ゝ
ゝ
ゝ

勝安頭うと云しなれ如我大名等ハ神祠ハ一の優ト云そノアラ〇
ロ又ニ至行啓ノ際ホノ入札アラなれ如ノ事ハや或ハ一人ノ有ノアラハや〇李落支字笑ハ
一 舅姑ノ名ニ様ニ忌ノ有ル二ハ
一 某人之父母ノ名ニ様ニ忌ノ有ル二ハ
レンそうトニ新着ノ時ハ官吏人ニ唱道ノ停ノ亦如ノ事ハ
アリなハ啾みや萬國ニ行人ヲ遊しんれ法なニ石演ルけ
一 大坂者ノ村屋 鳴 事ありし代 武ゆー 五百石ノ船ニ積ノ今明
ルれ比ノ村 鳴 長州ニ売ル国ニ運ル長防売船ハ米ニ塩ノ外ニ
ハや帆ヤ船ハ船ノ船ノ上 文昌ハ者、船ノ為ニ往返ス無ク適ク船ノ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

一 赤系寒民救小屋数ヶ所建ヶ見ヒロノ ヒマヒ小屋 容寓ノ者ヒマヒ
一 小田氏ハ旅宅自ヶ銭氏ノ寄寓 所勢ニテ旅宅 天朝ノ明ノ処ヒ
分級旅宅或ハ別ニ七ヒ建テ ヒ字 長深牧川皆移田部屋辺ニアル旅舎
四老深ハ早出夜ノ内ヨリ多忙移ル旅宅ヨリ海辺ハ写ル ノ如クナルヒトヒ
一 近日ニ御帰ヒ為ニ新ニ船ヲ作ラヒ ヒマヒテ ニテ出行セン義ヲ申ス人
ノ如クニ列ヒ ヒマヒ ヒマヒ ヒマ

下毛有馬事

吹上蒲士辞世

絶命詞　納戸役　鈴木鎮次幹固　二十一才

欲模先哲畫臣規一劍誅奸就死期縦是輕厥化為
草勵魂千歳護君基

史官　坪井鵜治以興　三十七才

官路自古苦經過皇帝大江与洪河江河覆舩尚可
脱國家一傾将奈何猶留久蔵斬馬劍矣雲世稀張
禹多

司令官　鈴木宗十郎明義　三十五才

一劍徵奸光凛然赤心今日徹蒼天君看東海鯨鯢
腹便是吾生好墓田

壮士生忍報國君誅奸懲惡掃邪氛従容就死将何
願白日青天絶點雲

書記　島村平四郎直喬　二十三才

曽期大義墓英雄銕劍誅姦臣事終好拝蒼天臨爺
賛卅心今日表徴忠

中小姓　縣一義剣　二十一才

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

辞せ　　會計　中田善蔵成秋　六十七才

者の為めて度々や旅の労

主乃為世の為今まで

述懐　　当時天朝御厩牧中駿吾附　吉田新兵衛義常　三十六才

復古乃命も常盤なるまのとの

石在東京横田氏所蔵書　日誌乙巳五二号ニ詳ス

㊈詔書　皇道復古　朝憲維新　一資汝有衆之力朕切嘉将之

朕惟　乃領賜以酬有功有衆最弐

明治二年乙巳九月

賜五千石　准前　倶視卿　中御門経之卿　東久世通禧朝臣　松子慶永卿　徳川慶勝卿　大久保利通卿　廣澤真臣朝臣　岩下方平朝臣　西郷隆盛　福岡孝弟朝臣　辻将曹

賜千五百石　叙従一位　賜千八百石　准前　叙正二位　賜五千石　准前　叙正二位　准前　叙正二位　賜千八百石　准前　叙従三位　賜五百石　准前　叙正五位　賜四百石　准前　叙正五位　賜四百石　准前　叙正五位　賜四

賜千圓　田中不二麿

右九月廿六日

高千石　神山君風朝臣

依勲勞永世下賜候事

明治二年己巳九月

賜五百圓　正二位藤原朝臣實愛

右二通　太政官印

己巳九月　三親町三條正二位實愛

皇道衰頽之時ニ當リ回復ノ志ヲ抱キ竟ニ中興ノ大業ヲ輔ケ候段叡感不斜仍賞其勲勞祿千石下賜候事

己巳九月　大政官

○若松在萬湯沼字多牧　己巳九月廿日卯刻過ヨリ出火同廿一日辰刻迄ニ鎮火ス

上書ノ如ク相成候ニ付テハ當月ノ分ハ勿論ニ候ヘトモ其後ノ分ハ當月ノ分ニ相加ヘ候ニ及ハス候事

但シ當月ノ分ハ勿論ニ候ヘトモ其後ノ分ハ當月ノ分ニ相加ヘ候ニ及ハス候事

辛致候事ニ候ヘトモ、猶又ニ十四日卯刻ヨリ出火同廿一日辰刻迄ニ鎮火ス

日廿五日ノ夜ヨリ四方文誠ニ容津不宗ニ、國方ニ多クノ人家ヲ燒失ス○松代ヨリ飛脚ノ者、

ル事ニ候ヘトモ多クノ人家ヲ燒失ス○民政情狀人物ニ寄リ

方ト町中左ノ人名四條數并今ノ縣役人ハ一文モ與ヘス候事

ハ不申上候ヘトモ信濃國ニハ

ノ事ト　馬場ヲ

八月十三日秋田縣ヨリ報知書届申ニ付賓川村人足ニ申ハ當年北ノ方ヘ通行ノ者
有之候ハヽ早速ノ報知可致旨去ル廿日ノ布告ノ趣人足ニ申渡候所ニ昨夜九ツ過ニ
一下郎虎十郎ト申者ヲ連ニ而通行ニ付相尋候ニ秋田ノ者ニ而主人ヲ殺シ逃去候
〇去十五日差松東山形米代ヨリ故當縣ヘ出役詰ル処昨日ノ人皆迯残リ品々ヲ大小迯
散候ニ付追掛候ニ夜ニ入候ニ付相止候旨ニ而昨夜ノ人ハ秋田宮沢田中某ト申者ニ
ハ相違無之候ヘ共其後ノ儀ハ不相分候ニ付ノ〇城下ヨリ注進ノ趣ニ而ハ
ヨリ相違ノ儀ニ付ノ〇役宅ヨリ人数差出候ニ付ノ〇話ノ趣ニ而ハ秋田ヨリ
照会ノ儀ニ付ノ〇役宅ヨリ人数差出候ニ付ノ〇話ノ趣ニ而ハ秋田ヨリ

別紙

上山村ヨリ届ノ趣ニ而ハ秋田ノ者ニ而ハ無之候ヘ共其後ノ儀ハ不相分候ニ付ノ
八一ノ町二ノ町三ノ町四ノ町迄ノ触書ヲ出シ置候ニ付ノ〇役宅ヨリ人数差出候ニ付
為ヲ為ヲ永キヲ義仕ト〇新獄ヲ四人ニ相成候ニ付ノ〇話ノ趣ニ而ハ秋田ヨリ
一當月分ヲ千申ヲ来候ニ付名ヲ下ヲ給ヲ八ヲ為ヲ仕ノヲ
九ヲ又ヲ当ヲ申ヲ来候ニ付ノ〇役宅ヨリ人数差出候ニ付ノ〇話ノ趣ニ而ハ秋田ヨリ
ヲ為ヲ為ヲ当ヲ申ヲ来候ニ付ノ〇役宅ヨリ人数差出候ニ付ノ〇話ノ趣ニ而ハ秋田ヨリ
今ノ刻ヲ島村ヲ役監察ヲ所ヲ来ヲ在ヲ
ヲ為ヲ在ヲ候ヲ〇ヲ而ヲ〇ヲ而ヲ
ヲ為ヲ候ヲ迄ヲ〇ヲ而ヲ
ヲ薬園ヲ
ヲ

一宇和島二位公民部卿兼大藏卿ニ任セラル、由就テ公罷ラル、ニ○或云加州本多某
ハ春嶽公婿ナリ公ノ因テ落髪ト成リ三ノ国ノ内ノ地ヲ分割シテ芸官料トセンコト
請フ本身ハ加州ニ手掌ヲ指ス其意蓋シ加州ノ根
元ヲ奪ハンコトヲ欲スルカ如シ是ホノ故ニ公ノ罷ラルヽヤ否ヤ未タ知ル可カラス
一公ハ春嶽公ノ令嗣ニシテ古昔ノ名門ナリ今ノ侯伯ノ如キ其ノ先ハ皆ナ陪臣ノ
ミ公ノ如キ実ニ其ノ人ニ非ス
一公ハ今年三十七才ノ壮年ニシテ学識アリ才幹アリ其ノ藩ニ在ルヤ藩士ヲ教育シ
テ文武ノ業ヲ勉メシメ藩ノ財政ヲ整理シテ其ノ歳入ヲ増加シ其ノ藩ニ在ルヤ僅
ニ三年ノ間ニ藩ノ歳入ヲ増加スルコト殆ント十万石ニ近シ其ノ藩ニ在ルヤ僅ニ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

本多城ノ誤ナラン此侯自用ノ森中不治ト云大夫人及
外愛サン従事ヲ乾テ四ハラルヽヤ今年中三ケトヲ夫人ハ安芸家ノ意
ケトヲ三人共ヒ東京アリテ留守ノ路要ヲ図ル事多東京ニ在ラシヤ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

務一事ヲ改定セサル内学制不獨ス一事ヲ不定故ニ
ヨリ到底ヲ立ル方今俸給ノ減禄ヲ以テ一万ノ四百余
校費ヲ支弁スル能ハス詰ル所ハ一ノ教育ヲ行フ
ト云ハン一条行フ能ハス必不二ノ有様ヲ皆人云フ
多シト云ヘ共ノ減禄ヲ行ハン為今直ニ数万俵ノ
無ク学校何ヲ以テ設ケ教育ヲ施サン
ソルダートノ名ニ一ノ損ヲ傷兵ヲ以テ生兵トスニ
○今ノ減禄ヲ行ハン為今直ニ数万俵ノ
居ノ鋒矛ヲ不使ト雖モ今用中ノ急ニ今
新潟ノ事ヲ報ニ後ヲ其ノ事ヲ当ニ敏ニ行テ未
実ニ松ノ下ヲ改定ニテ東京ヲ守ルヲ其ノ事ヲ
出テ窮民ニ難ニ故今所遣後ニ七百表今月ノ俸給ヲ
テ減耗セル之恩典以下当路ノ失政常状ニテ之ヲ報以不
ヲ以テ信州ニ移入ス新潟ニ運漕スヘキヲ徒ニ破毀
遠大ノ策ヲ不知今
先ヲ未ヲ得ヲ新ニ
ヲ移出ノ禁ヲ弛ル
八等官ノ中一人役繁官ニ往テ本俸ノ下人ヲ得
ヲ述テ和戎ノ務入ノ官准之ノ気ヲ不失又得
其他ヲ考ヘ其ノ労ヲ報ヒ
一年鬼室辺事繁ノ者ヲ初ヲ妙ヲ称ヒシ
者アル由又両官ヲ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

鐘為シテ稲ヲ刈シメ家毎ノ者、助勢米ヲ出サシメ、ヲ犯シ米ヲ刈ル者ハ其刈ル所ノ稲ヲ没収シ、故ニ去六月ノ頃ヨリ大ニ穀ヲ貯ヘ、未タ実ラサル青稲ヲ刈ル者ハ罰金ヲ納メシム云々

一 人千秋来タ雷霆ヲ霜霞ス稲青ニ一日ノ餐ヲ営ム人員ヲシテ禁セラル麦蒔ノ時ニ至テ刈ルヲ要ス刈ル田ノ稲ヲ分テ三ツトシ初メ青穂ヲ刈リ次ニ実入ノ半ニ至テ刈リ後ニ稔熟ノ後ニ穫ル者大ニ時ヲ失セリ事ヲ挙ケ其他刈穫ノ後ニ穫ル者大ニ時ヲ失セリ事ヲ挙ケ耕不善其他刈穫ノ後ニ穫ル者大ニ時ヲ失セリ事ヲ挙ケヘカラス今夏翠ヲ植テ麦田ヲ変スル影キヲ以テ仍テ三ヶ年ノ間ハ麦ヲ植ルヲ禁ス

一 薩州ヨリ東京ヘ多数八十人小隊百字隊ノ兵ヲ出タル由ヲ新聞ス之ヲ実ナラハ又何ノ事ヲ起シントスルニヤ

一 薩州従二位大臣上京有テ盍簪挙テ攘夷ヲ唱ヘ必其挙ヲ及ント云ヘル切迫ノ初遷ヲ百方修繕スレトモ不被随形テ方ニ多仕ラ国ヲ在ラ多ノ列ラシテ不敬ヲ名ケ故ニ朝廷ノ重士ハ数百千人ムリシテ上京シテ報ラ不知由ヲ封建治ヲ得スルヲ希望ス君臣

馬並ニ肩ヤ小路ノ茂吉ト云者牛ヲ屠ル師ト云ヘ皮牛ヲ大坂ヘ回シ沙粉ト交易セント謀ル此節今所ヘ行テ未帰ラズト云

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 鐘次ニテ稲ヲ刈ニメ家ニ着、晩酌米ヲ買ニ
ヲ犯シ米ヲ刈ル者ニ罰金ヲ納ムヘキ云出タル
故ニ六ツ過ニ大谷ニテ未ダ実入ラス、実入ラ
一 今秋未ダ霜賀ズ稲青ニ一日ノ late ヲ以テ刈ルヲ禁セラル麦蒔
ク〻後ニ刈ラントスルヲ刈田ノ稲ヲ分ケテ
耕不善其他刈獲ノ後ニ播者大ニ喰ヲ失セラル事ナキ
ヘカラス今度翌ノ荘ヲ喜田ノ late ニ倣ヒ三七ノ儀ノ寒ニ近ト云
一 薩州ヨリ東京ヘ多数ノ隊兵ヲ出タル由ニ新聞ヲ見ル
実ナラハ又ノ事ヲ記シ出スルニヤ
一 東京ニテ屋代ルスレニテンプラノ如ク牛肉ノ煮売ヲ
売ヲ見ル此地ニテ飢饉ノ時ニ牛ヲ殺スヲ忌ミ之ヲ
ル二百頭ヲ屠者ハ士ノ俸ヲ減ス云ヲ聞キ今ニ至ル
約半ニ乗ス云ヲ聞ク屠者ハ穢多ニ限ル由
一 東京西丸大手ノ橋ニ、養ヒ免ヲ拾両之金札又五両札ヲ拭ヒ其傍ニ
菊桐ヲ張唐紙ヲ以テ横島ありて執ヲ
下ヲ通ルベシ
一 薩州従二位 大納言上京有之、奉行ヲ攘夷ヲ唱ヘ必其挙ニ及ンヤ云ヘ
相違ノ百姓体ニテ不服ノ方ニ変化ル国ヲ待ツ
故ニ 朝廷ノ命ヲ不ル者ヲ討ン事ヲ
千人ムリニ上ラシメ云ヘ

相謀ラ其軍ヲ乏シ勢迫リ動モスレハ刎首ヲ乞ントスル高慶佐内

一長ラク近ク年和領ヲ小名領窃ニ領リ還シ新墾ノ畳ヲ以テ窃ニ封建ノ制ヲ復セントスル内情ヲ表ノ寛合トシ旦ク年ハ如何ニテ唯去年布々ノ一割引ノミニテ

一本年ハ二十万石減封ノ割ヲ布告セハ二ノ汚ヲ察シ又サシ

百石出十七表ノ寛合トシ旦ク年ハ如何ニテ唯去年布々ノ一割引ノミニテ

不敬旦官官員月俸ヲ少クスルカ

一今春藤藩士逢テ摩藩留学生ノ返上ヲ行ヒタルカ如キ頗ル義ヲ云ヒ墾藩ハ城下再ヒ騒乱ヲ故国倫一致ヲ事中ニ容易ニ成リ行ク事ヲ已ニ東北出張ノ者オ引上ノ上返上ノ事ヲ相談シ候已ニ聞ク所ニ依レハ

ハイカラ城ハ城ヲ不ラ

逐テ城ル士ヲ出シ候茶ヲ表シ城ル動静ヲ待ント称シ又支

ニ中ニ連ル刻ルヲ以テ

一藤士国元ヲ卯林左内ヲ去ル廿日下ノ旨ヲ伝ヘ急ニ帰国ノ命ヲ下ス故ニ

返シ元ヨリ其人ノ話ハ鹿島城下ニ在兵五千ヲ率ヒ来ル兵五万有ル由ニテ

七ヒ大事ヲ出ヲセムル容ヲ改メ十八事ノ者瞬時シテ七ヲ率ヒ

一武級五千ヲ率ヒ峯峠ヲ分ケ大ニ於テ国勤ヲン藩士杉井十郎

渾中ヲ率ヒ相儀ヲ由ヒノ杉井ハ伏水ノ戦ニ手負ヲ疵候ニヲ

郡ヲ追ヒ一人ニ付ノ下陣ヲシカヲ止ヨウ実タニハヒヤトヲヲ

一杉井ハ筆ヲ其ニ長ル人ヲ分ケ創ニノ武級ヲ分ヲ通

ヲ一定ニハ某一ヲ乃ヲ故假令ハ兵一ロ館ヲ分ケ

(那珂郡ノ石ヲ以テ

七ヲ作ル)

六其所相距ル十一里ヲ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

取行義存りそうそう出来一本ほか発ト定ヒトられ、備へ兵船
かぶらおそ三十艘又ホ大筏ろうふ作りこ行也許、行て兵粮ろ數ろ算
一杉田佐ト蔭州ニ而蓋ろ布ろ織ん機ハ六百機ろ下ろ綿ろ手ハ此ろ
ヲ造ろうん布ろ織ん機ハ六百機ろ下ろ綿ろ手ハ此ろ
ことごとく 琉球略説ニそれ見ゆ 抗 朱日録ニ見ゆ 初汗人八十人ろ傭ニ邦人百二十人拠り指ニ而機実ノ使用ろ作ろ
ヒ今ハ邦人八千人ろ算ろ今一日ろ云ヒハ布千四百反ろ一ヶ月ニ織ル
千二百反り織ヒ並ろ用ニス水車ろ以テモ運ニ故ニ業ノ夥ろ者ろ心喰ハヒ一ヶ月用
物莫大ナル故ニ而ろ不使汗人ト称ヒテ治り甘ろ布りおんこ考ヒ汗人ろ入ル名
ヒ今ハ倭ろ称入ル布落ろ一反ニ付ろ多ト云。 ○按ニ琉布ハ
一加州ろそ大筆ろ算ト於テハ絶テ少ト云 麁ろ為ニ
火薬汗船ろ算ニ而ヒ支ルろト云

一琉球薩ニ修又薩ニ従ヒ久ル故ニ言語ろ辱ヒメろ名故ニ言語ろ
ヲ善ヒ少ト雖ヒ言葉ニ迫ろ指ニ甘ヒトニ而ろ実務スルニ不便ニ少ト
セヒテ後ハ薩ニ従ル而ヒ形義ヒテ檜実ノ師ろ起ヒトニ先務ふ所
ろ云ヒナ 朝鮮ニ仰ニトニヒ器岸壱ハ檜実ト北征貴典サルル
ルニ依ル故ニ更ニ二従ろ喝ニ服務迫ルニハ朝争ろ名故ニ一切
新羅ノそろ恐ハ即而禄ろ失ろ恨ろニ而蓋ニ封建仙ろサレ石駅ノ
新羅ノ法ニ不足ろハ皆ニ不足ろ云ヒ

一汗船ろ操ヒ而ろ受ル多ニ従ル日船ハ大井ヒろ而人ヒ故ニ人ニ従ろ矢ル
二人ろ日船ト云ハ長州 ○ 船ろ称ヒスル為ナラン カ

一薩王而蓋ろ去春異以来国用窮乏ニ而ろ参石ノ為ニ幕府ろ造ろ二時ノ多ろ海ト
称ヒ今ろ移ル依之相当之従漸ヒ至ル度ニ而ハ 朝鮮

太子の不為得ず察し故に自有レテ朝威を軽侮セんコン

一 又説薩藩士減俸之家を迎ふる人撰事免職諸藩と同じく窮迫之者実

メルの時薩兵の説を為す者多く然而大声撞木を以て叫ぶ燔を

毫も変ぜず剛毅の状を現ず之を称して豪傑と為し勤皇佐幕

服従スルと同じ故に必ス撰ばず撰挙して国会を開キ不可ナルの不撰ニ

一 諸藩一万石を一人づゝ撰出し之を撰と称し諸藩を選ぶ二名宛

十人ノ留守ちり一ヶ所に会し一万石の員を人ず撰ぶ夜ノ昌を同一の元ノ

四号ニ改八更ニ字張ヤカンノ翻ヲ以テ云ヘル如キハ決テ行ハレんヤ

一 四の号改ムル初一位代ニ云ヘル二条「云々」を八ヶ条ニ云ヘル十月朱二十八日午二表ニ云ヘル

壹ヶ条ニ云ヘル少シク下ノ字ヲ上ノ字ニ改ムルノミ

一 上四ヶ条ノ後ニ感服シテ明ヲ望ムヘシ

市政主事兼勤ノ件

大監察ノ件

同上計改副ニテ兼勤ノ件

学改兵改副ニテ兼勤ノ件

同上

計改副ニテ兼勤ノ件

学改副ニテ兼勤ノ件

大久保藩ニテ兼勤ノ件

命ニ依リ在並ニ兵改御雇ヲ免ス

石川清次

宮澤善八

成澤恕

依藤美子

澤宥

藤田新太郎

岩崎懋

河原均

鎌原溶水

池田誠太郎

森津神平

関野敬二郎

岸善八

草間一洛

増源七郎

宮部廣馬

神社郡政改正事兼勤ノ件

神社郡政改正事兼勤ノ件

兵改学改兼勤ノ件

神社郡改副ニテ兼勤ノ件

神社郡改副ニテ兼勤ノ件

郡事ヲ行

ニ免ス在並

神社郡改御雇方

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

租税司
仮事務
仮事務
仮事務

十月六日

議事
議事
議事

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

杉村正太郎

六ノ一

野幸吉
田大兵衛
杉幸久
半田 錦次
蒔苗 義三

四ノ一ノ受取ノ如シ
免

六ノ一

小久保 喜七
道林 寛
久米 平

宮口幸慎
谷 長
あ兵衛
金子 彦
山口 甲
谷 彦
戎
三俣 寿三

一 本立溝職名表ヲ視ニ社寺奉行ハ何故ニ調番行人ノ
ミ之ヲ置カスシテ勘定奉行ヲ兼ヌルヤ其ノ理由ヲ知ラス
ト云ヘハ予曰ク社寺奉行ハ元ト勘定奉行ノ内ヨリ撰ヒ
出シ其ノ職タルヤ寺社人ヲ糾シ寺社ノ訴訟ヲ聴キ又
ハ寺社領ノ検地ヲ為シ或ハ巡察使ト為リ諸国ヲ巡察
スルヲ以テ其ノ職務ノ繁劇ナルヤ勘定奉行ニ過ク
ルヲ以テ勘定奉行ヲ兼ヌルヲ例トス故ニ勘定奉行
ノ職ニ在ル者ハ寺社奉行ヲ兼ヌルヲ以テ栄トス
ルヲ以テ勘定奉行ヨリ寺社奉行ニ転スルヲ以テ
栄転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ
以テ降転トス故ニ両職ヲ兼ヌル者ハ勘定奉行ヨリ
寺社奉行ニ転スルヲ以テ栄転トス故ニ寺社奉行
ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転トス又寺社奉行
ニ転スルヲ以テ栄転トスルヲ以テ神社部ヲ以テ
トシ学術ヲ以テ栄転トスルヲ以テ日光神社部ヲ以
テ栄転トシ学術ヲ以テ降転トス故ニ寺社奉行ヨリ
勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転トスルヲ以テ日光
神社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ以テ栄転トス故ニ
寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転トス
ルヲ以テ日光神社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ以テ
栄転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ
以テ降転トスルヲ以テ日光神社部ヲ以テ降転トシ
学術ヲ以テ栄転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行
ニ転スルヲ以テ降転トスルヲ以テ日光神社部ヲ
以テ降転トシ学術ヲ以テ栄転トス故ニ寺社奉行
ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転トスルヲ以テ
日光神社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ以テ栄転トス
故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転
トスルヲ以テ日光神社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ
以テ栄転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転ス
ルヲ以テ降転トスルヲ以テ日光神社部ヲ以テ降
転トシ学術ヲ以テ栄転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘
定奉行ニ転スルヲ以テ降転トスルヲ以テ日光神
社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ以テ栄転トス故ニ寺
社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以テ降転トスル
ヲ以テ日光神社部ヲ以テ降転トシ学術ヲ以テ栄
転トス故ニ寺社奉行ヨリ勘定奉行ニ転スルヲ以

不知ドスル者（尚）
唱門ヲモ云ハス訴訟ヲ行ヒ又ハ官長ノ掛附ニナルヘキ事件ヲ称シ人ヲ脅シ人ヲ欺キ私ニ復讐ノ為ニ改正スルヨウハ幸ト云ハン政府ノ命ヲ後日大ニ待ン

一 寺社免税ノ田地ハ従来ノ通リ差置ク可シ尤モ社寺ノ境内ニ非ル墓地ハ地所ノ名称ニ関ハラス悉ク免税ヲ除キ地券ヲ改メ渡サシムヘシ

一 社寺ノ建物

千石
五百石
金千両
四百石
位一級 千石終身 二説五千石云
位一級
石高多シ四百石ノ家ヲ得ル方可シ
○小銭貫六百文ヲ以テ金壱両ニ換ル
○當二十六日酔月楼ニ雪別荘ニ用人場面使義同席

小松 千石
田宮如雲 四百石
田口國之助 四百石
福岡 位一級
位一級 五百石
藝州老公 位一級 君
岩下
中根雪江
辻 将曹
尾州老公
越前老公
成瀬

更改之通稿大概 三巳九月
真田横山 志ニ作ル
大熊 衛士 蒙
鈴木 図書 蔵了 織了
忍田棟園
柘植惣兵衛 三品兵衛
柘植 協
菅沼 治部勝
松崎 志摩守 詢
阿部敬一郎 改名ノ上 千里 左馬允 一ニ近
牧野 一ニ近 晉

鍾原溶水 行ニ近
岩崎 玄蕃 梧心
前島 兵庫 亨
子五十馬 隼ニ近
柘植 協 彦四郎
井上 探 探ニ近
北嶋 半兵衛 広業 一ニ近
矢澤 縁 右馬之助 縁之助
北澤寄岳 行ニ近
竹内新七 左ニ近
上条宗一郎 宗一 左兵衛 一ニ近

赤澤蘭溪 蘭ニ近
玉川調布 左門
沈田誠大郎 左馬之助
多田探 探ニ近
河原均 左京
金井 肇水 玄蕃 肇ニ近
田口 新貫 左兵衛
柳水
多田 探 探ニ近
北嶋 広業 半兵衛 一ニ近
矢澤 縁 右馬之助 縁之助
矢澤源十郎
竹内新七 左ニ近
岸 茗八 太左ニ近
上条 理 左門 宗一郎 一ニ近
千条新 新ニ近
作郎三九四 左兵衛

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

鹿野園（ろくやおん）　宮下（みやした）　新（あらた）　矢部定謙（やべさだかた）

什麼（なにもの）　多（おお）　小（こ）　谷口大角（たにぐちだいかく）

宮下（みやした）　有壽（ありとし）　鈴（すず）　宮下一次（みやしたかずつぐ）

窓（まど）　寒（さむ）　山（やま）　丸山竹院（まるやまちくいん）

本田（ほんだ）　中（なか）　川又宇（かわまたう）

庄國（しょうこく）　半（なかば）　兵衛（へえ）　安原貞男（やすはらさだお）

水野（みずの）　葦（あし）　野（の）　蓋（ふた）　塚田十（つかだじゅう）

白川一藏（しらかわかずくら）　山下（やました）　皆東（みなとう）　秋津秀雄（あきつひでお）

小山（こやま）　玉川舟（たまがわしゅう）

柳（やなぎ）　和文（わぶん）　矢部定謙（やべさだかた）

常山筆記

一上毛岩鼻ノ官轄ハ五十余万石程アリトス知縣事小諸信大夫ハ久留米藩士由有栖川宮ヘ親シキ由六十余歳ニテ国学者流ト　髪ハ撫付テ追々髪須髯ヲ蓄ヘ量アル由川中ハ不飲公事ノ事ヲ晩酌ノ樂ムヨシ一分ヲ領ルヤノ由八月藩用アリトテ東京ヘ出タル由歩行三帯カノ者小者迫六人許隨従セリトス縣ハ馬二匹アリトス川俸ハ三十金三人食科ハ外ニアリトス官轄ノ駄物ノ類多ク有之トス前ノ知縣事大音龍太郎ハ聚斂家ニテ人ヲ殺シタル由東京ヘ出セレ行李中ニアリシニ万両ハ没収セラレシ由大音其性殘忍ニシテ人ヲ殺シタルヿ小栗上州ヲ初多々ノヿニシトス夫故官轄ノ庶民縣ヲ恐ルヽヿ虎ノ如シトス近江ノ神主ノ子ニテ文藻ハ中々出来タル者トス信大夫イツカ五位ノ上野介ニ任官シタリトス一奇談ハ平田カ申セシトテ　皇國ノ風ハ頽ハ撫付服ハ筒袖タヽ袋ノ如キモノヲ着タル姿ガ乃　國常立尊以来今ノ西洋各國ノ姿ナリシヲ　皇國ハ其以来七變ヒテ今

保崎傳（ほさきでん）　定ニ近　建ニ作　大ニ角　伝ニ作　大ニ角

大ニ忠一（だいちゅういち）　矢部忠男（やべただお）　利了（としあき）　作雄（さくお）

寺田（てらだ）　渡辺思襄（わたなべしじょう）　清ニ作　大ニ次

久保美尾（くぼよしお）　寺沢武雄（てらさわたけお）　求ニ馬

矢野求（やのもとむ）　渡辺中（わたなべなか）　次ニ作　大ニ左太ニテ

「石川威校（いしかわたけかず）

ノ姿ト十リ西國各國モ已ニ我兩湖ノ境ヨリ有リシ國ノトス說ノ由ヲ平田カ說ハ何書ニアリテ何ノ証拠アリトスルヲ聞カス又ハ潮カサリシ由ノ事ヲ始不殘官人ザンキリ撫付ノ頭多分ノ由ニ統ニ由ヲ同縣ノ士ヨリ聞テ風俗ノ變スル如此貴ナル可敬ヲ

一縣政ハ何ヲ是ト可称ヲ更ニ不問只鄉學ノ盛ナル生徒殆四百人悉皆食ヲ賜フ毎教授ハ鈴木三郎トス云林門生學人ノトス云〇判事ノ月給十五圓ヨリ下四圓ニ至ル迄ノ士モ、米サシテ知縣事ヲ始メ悉皆麦飯ノ由ニテ風俗ノ變スルヲ如此貴ナル可敬ヲ

〇宮人ハ悉皆食ヲ賜フ由教授ハ鈴木素遊ノ生ヲ川給四百ニテ社寺掛ヲ勤ル由ニ此漫遊ヲ好ミ十一年ヨリ書家ノ雲城ノ塾生トナリ号ヲ香城トス見付ノ福田半江ニ畫ヲ學ビ其後長崎ニ遊ニ畫ヲ學ビタルトス云ヘリ下ノ関ヨリ船行シテ長崎ニ遊フトス云ヘリ已来吉田ノ文學横山湖山ニ就テ詩ヲ學フトス湖山ノ塾ハ小毋貝霞浦トス云一年三十五圓洋ニテ其次香城ノトス云ヘリ已ニ詩學ハ未タ熟セサルニ似タリ上田ハ巡後ニテ屏風汁ニ三十余日留連シタリトス市中白木屋ニ當ル松平棠軒老人ノ第二屢遊タリトス或日知事公ノ妻陸ノ愈遇ニ預リ別席ニテ盃ヲ賜リシ由ヨリ此ノ望ニテ金幅ノ唐紙ニ孝經ノ全文ヲ楷書ニ書シタル由三日夜ノ二枚書シ内一枚心ニ叶ヒタルヲ献シメルトス云知事公ノ雁ノ格誠ニ可敬ヲノトス云実ニ天性ノ仁君ニテ充右ニ作者ノ有リテ為スニハ見エズトス云夫故ニ下民モ実心ヨリ服シタル由市中ノ手元ニ軒前金百両ヲ寄附息拜借行キ亘リタル由ヲ

一湖山ハ早春ニヤ昌平ノ一等教授ニ出名由月給六十金トス云ヘリ食ハ三度ニ学校ニ置キ家塾ニ其侭ニシテ有トス云息男某サ一戈敷鴛津教堂ニ託シ毎夜二更ニ門人ヲ引連テ放歌シ下谷三枚橋ノ賜ニ而毎ニ門人ヲ引連テ放歌シ下谷三枚橋ノ賜茅ニ飯ルトス云家累ハ七ニ田簿ニ置キ家塾ニ其侭ニシテ有トス云息男某サ一戈敷鴛津教堂ニ託シ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

ニテ置ト云湖山ヲ推挙セルハ頼復三郎之ト云湖山ヲ京師ニ志アリトテ仙台ノ大槻磐渓ヲ推挙スルヤ磐渓曰ク京師ニ数度ト云テ居ルヤ否ヤ一鈴木三郎カ推挙ニテ出タレトモ勤場ニ非ルニ志ニテ叶難仮者ニ託シ又遊歴スルヤ否ヤ岩倉知県事ヲ其内ニ代リテ京ニ上ラントスルヤ代ハ妹尾某ラントスルヤ同シク久留米藩士ト云徴士ト雖モ場合ニ非レハ進ムヿ不能ト云フ前橋侯ハ久留米出故小室ハ初メ前橋侯ヘ出ルヤ否ヤ一説ニ前橋侯ノ命ニテ会セシヤ当日ノ雑費莫大ニテ尤ノミ有盃ノミ、多ク中華意飲食ノ会ナルノミト云

一一ヶ条ニ於テ信セカタキハ前橋ノ臣ニ今ノ姫路侯ノ香花院寛隆山龍海院トヽ常ニ地ノ禅利アリ住持ヲ蔵雲和尚トヽ前橋侯移封ノ頃家中ヲ建ニ妨アリトテ外ヘ移サレン命ニメリニテ不肯強テ移サントセシヲ蔵雲憤リテ東京ニ訴タリ仍テ前橋侯ヲ東京ニアロサレ旧跡ヲ移サントハ非ルノ前ヲ察当アリヲ事止タリトヽ云無ニ蔵雲カ何ノ功徳有レヤ

龍龍ヲ拝シ且一品親王龍海院宮ト　勅許ヲ蒙リシトヽ云此侶詩ヲ好頻作者ニ名高シトヽ云自ラ再生老禅ト称スト云再生ハ佛ヨリ儒ニ再生シタルトヽヿヲ云無ルヿヲ再生トスフモノニヤ未詳然ルニ此蔵雲ハ何中迂化ニテ我松代大林寺住持棋仙ヲ後住三人ノ撰名加ヘテ晩ニ棋仙ノ大旦那姫路侯ヨリ請捉アリテ移住スルヿトナリタリ棋仙ハ大林寺ノ後住ニハ摂州兵庫ノ般若林福昌寺柏巌和尚ヲ請捉スルトヽ云未タ来錫ナケレハ当十月三日ニ発錫ニテ龍海ニ行ケリ不遠兵庫ヨリ極厳来錫茅棋仙ヲ級リ引渡海ニ移ルトヽ云其ヿハ一品親王ノ仲モ考ヘ知之一月卅日飯肥ヨリ西幕ヲ辞出サレ安井忠平トヽ儒家ハ此ヿ未前橋家ノ家ニ寓スル由ヲ以テ足利ノ学校ニ往来スル由ナリ安井ノ女一人先年山高真一郎ト同ク入学セシ由ニテ生某ヲ嫁ニ子女二人ヲ産セシカ某病死セシニテ不得已母子ニ安井引受タリ山高カ妻ハ尼ニテリ長女ハ洋医某ニ嫁ニ次女ハ書生某ニ嫁此書生吉井侯ノ聘ニ応シ妻及一色生夫婦ニテ吉井ニ在リ同居スト云

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 香城長久保驛嘉十郎ト云モノヨリ但徠翁ノ真蹟 西仙駿
タリ家父ノ士宜ニ為シトテ喜ブ真偽如何ナラン乎 河後云

一 村嶋屋善之助 大阪雜魚場ニ在リ一家富ミ此本元ハ和州 住村嶋長兵衛ト云大家ヨリ
ニ代目次男一條久々ニ入北ノ舟ニテ其家ヲ今十年ノ前ニ移入レ道ン
路ハ百ノ二十大坂ノ船ニ四拾五百苞ハ此地ニ移入レ道ン
長州藩ノ本落ノ為ニ通ヒ又我国ニ来ル者ニ多クハ総数
烟草楮紙ノ系統敷布等ニ至テ凡百有余ノ物交関スレハ
系統有ル者ハ皆落位ヲ経タル二ノ数ニ過ギス依テ今ニ
移入ル物ヲ以テ可シ私ニ一切不関係ニシテ敢テ新ニノミト云故ニ
商売ノ私ニ立ル故ニ品物ニ至テ唯一
右村嶋ノ代ニ当リ利ヲ失ハサル為ニ国敬ヲ
修約ニ違ヒホリ ニ至テ故人ト為リ之ヲ
ヲ告ケラル通ニ

通俗八ちあ
一ふこ

村島屋ハ伊勢ノ人ニヤ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

一陸羽綴ハ被ラン事ヲ願ヒ
ラセテ宮ヤトニ云ヒ右ハ
名ヲ有神陸羽綴トテ
一上田藩ニ於テ金ラ小紙ノ中央ニ粘ヒ四方ヨリ折包テ上ニ印ヲ押テ通用ニ金ヲ造レ
如クヒ名ヲ上田ハ已ニ近年廃
一須坂藩士元ハ少禄ニテ一ノ藩ヲ立テ
村ホノ
一上田藩劇一等宮ハ先ツ門閥ヨリ撰任シ二等宮ハ宮トテ不置二等宮ヨリ之ヲ
神ストニ唯有方ヲ撰撰シテ門地ヲ不問ヨシ
一日上城内ノ木七千株ヲ伐テ売ニ遇ヒ有テ近旅宮ホ立学堂
ニ相当リ為ニ伐ラレ
一南部紛擾已ニ其藩ヲ脱スル士族ハ未タ到底多ク故ノ如シ然ニ仕官ヲ又ハ
今ヲ寛ニ多数ノ家禄ヲ給ヒ又ハ
ル家ヲ共ニ
一村上藩士ノ内本荘ニ移ル者ハ
ニ云々ヲ
一長ノ移住ヲ
一奉藩学校教授ノ為林鶴梁 長瑞ヲ招ノ後アリト云然ルヤ
一旧宣教師ヲ大参事一年三両以下ニ減シテ一ヶ月三両ト云ヒ
一水戸藩勤皇七父勲納言ノ遺志ヲ継キ桃実地ニ新ニ神社ヲ
ヲ名ヲ建ノ
ヲ大参事ヲ招スルノ手紙ヲ
十月十二日

鋳り国リと雪西亜ノ琴ヲ長ク枝ス
ヲ以テ枝スルヲ如ウナレ其後陽子
ルノ海モ有ヲ但条ハ二度翻ノ人ヲ
一 十三日東京着便着ヲ十四日海
一 陸迅孫正疏大仏着ノ彩リヲ交代在宅ノ為ノ
一 長州交易ノ一ヲ物ヲ定額ノ税ヲ納ハ私ノ交富ヲ子ヲ
コトヲヲ村鳩屋ヲ還ルヲ其後米屋紙屋ホ勢ヲ相ヲ
保ノ司ノ許ノ数後モ新田ヲ名ヲ建ウヲノ税ヲ免
且上田モカルヲ又私ノ菜大叫菜ヲ仁業大仏
尚ヲ大ヲヲ加ヲンヲ西人仏ヲ彩ノコナレ走ヲ和漢古来ノ政道ノ校メ
ヲヲ言則ハ君西洋ノ御ヲ高ヲ仏会ハ兵ノ新ンロヲ得ヲ文学事武

トイヒ徳害保高トヲヲ初ル一モ而メ方今ノ時世ヲ高ヲ
ノノ高傍ヲ仕セ高ヲ係セサル如ク箇ノメヲ害ノ如ナレ
会豚高愛ノ手ヲ政者如ノトヲスルヲ不能ヲ至ヲ其
大仮高ヲ在ノヲ之ヲ収ルノ術先策ノ後得後ヲヲ
ヲ込ルめ仮ナレニ富ヲハ強富ヲ多ヲ者ハ盗ヲ臭ヲ勢ノノト
治一新等革断メ高ヲ長州ト方ヲ家ハ必ヲ修約ヲ結ヲ
メテ信患ヲ防ヲヲ国条ル〳〵ヲ今 李邦物信賜ヲ要第民
ヲ国高ヲ由ヲ湖ヲヤ吾信州ヲ在ヲ漫ヲ高ヲ家ノ又更ヲ家急ヲ
ノ有司故ヲヲヲヲ不足政
一 長州、土国産ヲ係ル高貴ハ実ハ皆子孫之 一武板 仮令ハ去午
村光蔵(ミツ)横浜ヲ在ハ山城屋仲介ヲ云新発又権発ヲ還了探索ヲヲヲ居ル由ヲ説 久英雨

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

鋳ル而リテ魯西亜ノ楚人ト杜多ヲ為スルノ事大ニ信ヲ移封シ大納言ヲ罷キ
之ヲ紗権スルニ如ナシ其後倫予昨又ヲ改メ私ニ一所ヲ占ル者ヲ経ル
ルノ後ヲ有ヲ但余ハ一度覇ノ人ヲシテ而ト君ヲ
十三日東京着便而テ十四日海路翠運ヲ而東京ニ趣ク者由事有之ヤ
ノ而リ而ヲ以テ村嶋屋ヲ還ル而其後表屋紙屋ホ製ヲ而相

一 上田知事公城下巡見ノ折リ老ノ訴ヘ本稿ノ筆ヲ杖従行シ
訪ラヘ之ヲ献策ニケ献策者ト是ヨリ脱スル迄ニ屡〻好ミ者ヲ聘ンテ
ヒテ工ヲ妨テハ不ラヌヿヲ恩ニ不ラヌヿヲ実感スルヿヲ
一 全城内書院ノ名称一洞トナシテ当所ニ用ヒ唯知事公ノ名ヲ以テ洞ト後事ヲ
具有ヲ以テ名ヲ以テシタル 樓陰子ホ咯叫家ニ鳴ラシ如
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 上田知事公城下ヲ巡見ノ節ノ談、本藩ノ若年寄ヲ勤メ
同ジク藩政ヲ掌リ是非ノ取扱ヒ近ク屋ヲ隣レル者ヨリ
モテ工ノ好テハ不好ヲ聞ク事ヲ息ニスルヨリ之ヲ感服スルヨシ

一 全城内書院ノ床縁一間トナシテ当所ノ風俗ヲ以テ
是有ヲ談ジ迎ヒ高砂ノ謡ヲ唱ヒ祝ヒ酒ヲ出シ
モテナシタル模様ヲ咄ス家ニ勝ルヲ以テ

一 全営ノ移植ヲ企望ノ人ハ其ノ望ヲ許ス
一 大工棟梁ハ勿論ノ事小作仕事ニ至ル迄
同ジクレニ大小ヲ帯シ迎ヒ高砂ノ謡ヲ唱ヒ祝ヒ酒ヲ出シ
其ノ由ヲ人ノ家柱ニ有来宅地ヲ新住ノ刻ヲ表ス新住ノ刻ヲ
由ヲ以テ多分ノ祝ヒ酒ヲ出シ来ルヲ仕舞ニ二ツ書ヲ割ヲ合ヲ右ヲ
新屋ノ祝ヒ酒ヲ出ス事ヲ同日ノ祝ヒ酒ヲ出ス事ヲ立ヒ集メ置新ヲ
大工棟梁ノ小ヲ

大工棟梁ノ外ニ及ヒ同居ノ程ノ者ニ或人云新築ノ
ノ祝ヒ酒ヲ出ス事ヲ及ヒ同居ノ程ノ者ニ而同日ニ
一 米澤藩ニ於ル旧藩主ヨリ旧臣ヘ賜ル扶持ノ
僅ニ五石十石ノ地ヲ二大方士族数百戸ノ
ノ如ク俸禄ヲ一ノ給ニ於テ仕法ヲ立テ一向引ヲ実ニ術計ヲ尽テ
来ノ俸ニ於テ生活ヲ営ヲ為ニ勉ヲ勤ヲ為ニ
方村ヲ於ル旧藩主ヨリ賜ル扶持ノ
未知

一 前討野村光蔵ノ子武敏ヲ質ニ曰此人ハ去年八十里越口ノ役ニ
長久無事ヲ以テ出テ数千ノ向進退ヲ慎ニシテ且高田ノ藩営ヲ攻撃スル時ヤ
山口ヨリ進ム四小隊ノ指揮ヲ以テ其時机ヲ引ヲ後向ニ一式

三ノ人ヲ一ツ物ト云ヒ赤旬ノ小旗ヲ菊花
此戦勝ノ後ノ事ナリ
徽章ヲ旬ノ深ミナニ
先ニ引揚ントスルヲ即村婦ノ剃落ヲ
腸病士ハ一ノ言句ヲ遺言ト云ヒ下ノ如キ
傷ヲ表ス正月
ナル事ニ出タルヲ不日進撃ヲ
下宰ニ左ノ書ヲ
作ノ雅ニ一体旦下ニ陽杯ノ
振ルノ旗ヲ
ニ依リテ高トナリメリ
仇ノ新ニ事ニ
計ノ洋物小銃時計
ノ如キ
ノ利ヲ得ル
抱ニ子ニモ石囲ヲ
夫ハ多人ホ該馬撫
ミニスルニ行ヒ
ヲ女ニテ用ヒナレ
止ニハ仇ヲ
年ノ生涯ヲ
ナラハ仇ヲニテモ
兵卒ハ唯行ヲ
又失ナレトモ仇ヲ
則士ヲ
ヲ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一若松ノ港長人割烹ノ科記事ヨリ入込丈者ヲシテ紀ノ
為ニ取ラシメ然ル今ヲ五月頃降伏服走士ノ内ヨリ落州人ヲ
一長ノ者ヲ兵ニ従ハシメ久我四郎半隊長本村勇太兵衛ホ話務森川ヨリ馬ヨリ
久我八今後所定ノ地ニ於テ部ヲ離ノ時ハ勝手ニ帰ラシムル
ノ事ヲ軍ハ兵要隊ノ者ニ合ニ至リ降伏ナルト雖モ
ヤヲ以テ故ニ都合之ヲ以テ
ト雖モ久我ハ兵隊ニ
右ノ二條ハ並ニ九ヨリ打切トナリ此ニ死ノ
ト云ヘル人留ヲ不許故ニ
皇国ノ名義ヲ汚シ随テ貿易ノ
ヲ甚ダ便ニ依テ
改正ノ事
引ノ改ノ一ヲ得
但奏明ノ上ニ
右ノ通奏准ニ付テハ
民部省

蚕糸布告書写

諸開港場ヨリ輸出ノ生糸ニ製産ノ仮印ヲ製或ハ平正ノ
ノ為ニ有之ニ付今般開港場ヨリ輸出ノ生糸ニ製産ノ仮印ヲ製或ハ平正ノ
ヲ甚ダ便ニ依テ
改正ノ事
引ノ改ノ一ヲ得
但奏明ノ上ニ
右ノ通奏准ニ付テハ
民部省

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

二条川端ニ有之候者役者ヲ死骸ヲ懐中ニ有之大将某罪状生存之通

大村益次郎

租則

一 移住ノ部ヲ枚 移住永百文 一生ニ九度ヲ限

一 真影 九寸ニ四寸ヲ限 移住ニ同 一度ニ九度ヲ限

一 ゆもじ 九寸ニ四寸ヲ限 移住ニ同 一度ニ九度ヲ限

一 出売婦 以上 移住ニ同 一度ニ九度ヲ限

右之通ニ候出ル事

一 奪古人之材徒ニ用ル為在ル 御趣意恭奉 神州之元気ヲ興張シ武

威ヲ海外ニ光耀シ賢愚各其所ヲ得萬民悉ク安堵ニ到ル在天之威霊ヲ奉

安ンレント之 朝命之不ル所ニ候者職任ヲ以テ本来身分ヲ不弁事ヲ

模擬シ 神州之国躰ヲ汚シ 朝憲ヲ蔑シ漫ニ変ヲ俗ニ変シ

萬民塗炭ノ疾苦ヲ醸シ成ス故ニ人心日々浮薄廉恥ヲ

喪アルヲ知テ 皇朝アルヲ知ラザルニ至ル極ニ其罪状数ヘ不勝枚挙

スルニ依テ天地神祇其怒ニ触イサヤラレス手ヲ我ホ左ル

天誅鳥衆首後鑑トナサレハル者也

明治二巳年九月九日

追加大村某東京長州屋敷ニ住居洋学者村田蔵六ヲ通称後ニ大村益次郎ト改名ス
大輔ニ任ス（兵部大輔ニ任ス）事

○一説ニ大村ノ言ニ曰ク薩藩ヲ征スルニハ薩藩ヲ以テスヘシ或人曰ク大村益次郎ハ兵ヲ知ラス況ンヤ薩藩ヲヤト大村曰ク然ラス天子東京ニ遷ルヤ御寵待西京ニ異ナラス第一天子ノ御為ニ神州ノ国体ヲ一洗スル子列藩王子ト天子東京ニ遷ルヤ御寵待西京ニ異ナラス第一天子ノ御為ニ大屋高楼ヲ建ツヘキ理何ンソ二アルヤ然ラハ則チ大村ハ兵学ヲ知ラス況ンヤ薩藩ヲヤト或人曰ク大村ノ言ニ曰ク薩藩ヲ征スルニハ薩藩ヲ以テスヘシ或人曰ク大村益次郎ハ兵ヲ知ラス況ンヤ薩藩ヲヤト

○一説ニ大村ノ言ニ曰ク戦中二人ヲ百ニ為ス其後百ヲ挙テ以テ一ニ敵スルヲ以テ故ニ敗績ス後チ三人ヲ百ニ為ス其後百ヲ挙テ以テ一ニ敵スルヲ以テ故ニ敗績ス後チ三人ヲ百ニ為ス其後百ヲ挙テ以テ一ニ敵スルヲ以テ故ニ敗績ス後チ三人ヲ百ニ為ス其後百ヲ挙テ以テ一ニ敵スルヲ以テ故ニ敗績ス後チ

○又説ニ大村ノ言ニ曰ク兵ハ詭道ナリト或ハ十津川士ノ所為ナラントト今回状ノ文体ヲ案ズルニ大村ノ言ニ曰ク兵ハ詭道ナリト或ハ十津川士ノ所為ナラントト今回状ノ文体ヲ案ズルニ大村ノ言ニ曰ク兵ハ詭道ナリト或ハ十津川士ノ所為ナラントト今回状ノ文体ヲ案ズルニ

○又説ニ大村ノ言ニ曰ク兵ハ詭道ナリト或ハ十津川士ノ所為ナラントト今回状ノ文体ヲ案ズルニ大村ノ言ニ曰ク兵ハ詭道ナリト或ハ十津川士ノ所為ナラントト今回状ノ文体ヲ案ズルニ

○又説

山口藩　神代直人　信州伊那郡ナムダ村
ヲ知事　同　岡崎金三郎
関崎今藩ノ時
同　勝部　深
河野　某
堀田譲　堀田譲
通日六日ヲ権ト相成ル国仲次第太田黒伴雄件件事
及ヒ今暁若クハ明朝ノ内ニ名古屋ヘ着ノ上ハ直ニ官軍ヲ率ヒ
ヲ襲ヒ候ハヽ
名古屋ヘ着ノ上ハ直ニ官軍ヲ率ヒ
ヲ襲ヒ候ハヽ

明治二年己巳九月廿日　太政日誌第三号九月廿八日條

(三)宥典録

詔書

朕引明君徳ヲ以テ下シ率ヒ庸主法ヲ以テ人ヲ待ツ顧フニ乱賊常ニ有ラス
君徳奈何ニアルノミ今ヤ北疆始テ平キ天下粗定ル慶喜以下ノ如キ咎保
寛宥スルニ忍ヒアツテ自新ニセシメスシテ天下ト更張セン

添御沙汰書

法律ハ國家之重事ニ候所昨年犯逆之罪ニ於テハ名義紊乱後ヲ承ケ
政教未洽ノ際ニ付　聖上深ク御反躬在専ヲ非常寛典ニ被
思召ヲ以テ　詔書之通更ニ被　仰出候間名義ヲ明ニシ順逆ヲ審ニ
シ反省自新盛意ニ対膺可被修事

○候次第就テハ今度深キ
合当作治

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

先般謹愼被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免ゼラレ
大改官
徳川慶喜一

九月

先般於東京謹愼被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免ゼラレ
大改官
伊達慶邦

右二人慶喜同文 東京謹愼

先般謹愼被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免ゼラレ
大改官
南部利剛

先般謹愼被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免ゼラレ
大改官
阿部正静

先般以御処置隠居被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免更ニ叙爵被仰付
従五位
宣下
伊達宗敦

先般謹愼被仰付置候処深ク
叡慮ヲ以テ
免ゼラレ
大改官
上杉齊憲

南部信民
板倉勝尚
本多忠紀
田村邦榮
内藤政養
滴井忠篤
牧野忠訓
丹羽長國

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

右十人上杖斎憲同文　叙位前ニ同

先般隠居謹慎ヲ仰付ラレ叡慮ノ次謹慎ヲ
其方父鶴翁先般永塾ヲ
免ジ
酒井忠良
岩城隆邦
松平信庸
堀直賀
久世廣文

先般塾ヲ
免ジ
水野勝知

先般塾ヲ
免ジ
今般謀ノ
仰付ラレ
事
藤信勇

先般伏見宮ヘ御預謹慎ヲ
免ジ
帰ス
仰付ラレ
事
酒井雅樂

今般実家ヘ
復帰ス
仰付ラレ
事
飯野藩知事保科正益

今般実家ヘ復帰ス
仰付ラレ
事
輪王寺宮

杉本容保儀先般城地ヲ
引上父子ヲ
以テ
預ケ
仰付ラレ
事
公現

家名ヲ立テ下候而血脈之者相撰可願出ノ事
鳥取藩知事池田慶徳

松平容保侯先般城地ニ付父子永預ニ
家名ニ之下ニ百俵之高ニ而
右同文

林忠崇儀先般謹慎永預ニ
下ニ而五百俵之高ニ而撰ニ而頂戴
久留米藩知事有馬頼咸

徳川慶喜別紙之通ニ
九月

伊達慶邦宗敦儀ニ付
唐津藩知事小笠原長國
静岡藩知事徳川家達
大政官
仙台藩知事伊達宗基

南部利剛儀ニ付
毛利元敏
毛利元徳
毛利元純
阿部正静儀ニ付
阿部正功
酒井忠篤儀ニ付
酒井忠宝
牧野忠訓儀ニ付
牧野忠毅
斎藤実
信民
勝尚
忠紀
邦栄
改葬ニ

盛岡ニ
二本松ニ
棚倉ニ
大泉ニ
長岡ニ
米澤ニ
七戸ニ
壬生ニ
泉ニ
一ノ関ニ
湯長谷ニ
南部利恭
毛利元昭
阿部正功
酒井忠宝
牧野忠毅
上杉茂憲
南部信順
板倉勝達
本多忠伸
田村崇顕
内藤政憲

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

忠良 云〻
信庸 云〻
隆邦 云〻
直賀 云〻
廣文 云〻
勝知 云〻
酒井雅樂義 云〻 ○碧山侯川家建ル御祠

酒井雅樂家ヲ其方ヨリ預ケ 仰付ラレ 謹慎ヲ免ス 仍テ此ヲ以テ
久松定昭ヲ別紙ノ通リ 仰付ラレ候ニ付テハ
ソノ領ヲ彼ヲ預ケ 仰付ラレ候ニ付テハ

松山領 云〻
上ノ山 云〻
亀田 云〻
村松 云〻
関宿 云〻
結城 云〻
姫路 云〻
静岡 云〻

酒井忠匡
松平信安
岩城隆彰
堀直弘
久世廣業
水野勝寛
酒井忠邦
徳川家達

松山 云〻
久松勝成
伏見宮 カノ二

十月九日

一 近日物價一等騰貴ニ付 御下ケ渡シ

上 唐紙十枚代三十五文 大奉書一帖代壱匁 内山一
上 不漉紙一束代三十五文
仏三十文ニテ少ナシ

西小路紙類 我後新寫 書五泉辺ヨリ参ル 我
至テ多シ 又近年中ノ条ヨリ楮皮ヲ以テ紙漉ヲ
ヨリ多クシテ 故ニ
又 細一疋代八匁位 紙一束代三十五文
九月末ヨリ 細一疋代八匁位 紙一束代 五十五文カ
十月中旬ヨリ 細一疋代八匁位 六十文

十二日

一 鼈害地ハ諸藩ヨリテ夜侍ヲ差 命 江刺 函館ハ長州持ヨリ此節會社取建最中ニ
卜云 カ州本吉松人水手某
ノ話ニ見ハ長州松松ノヨリ来ル
三島ホノ事ヲ名ハ載修寄慶ヲ有ニ兵隊 金華 右之ヲ奏サルヘキヤ存ヲ有ハ存ヲ有ハ
北辰

度トカ云フ事ニ定メタリ

一十月二十一日晩ニ系加州中村吉郎上書ニ付今夜 御下ニ而法河内経新
堂ヲ過ル事ニ而ハ無之候得共其筋ニ付立寄候処 加藤神尾
鉉之助ト同行ニ而昨夜 酒屋 治ニ而先ニ人ヲ遣シ置候ニ付而ハ夜ニ入リ候
川田ノ下ニ而我 大喪ニ付キ勘定ハ不可叶ニ付明朝生ニ而ハ参兼候ニ付一人ニ而
行ニ更ニ遠ニ而ハ無之候得共其筋ニ付立寄候処 加藤神尾
中村八宇招候ニ付差出候人ニ而東ニ系生ニ付ト云フ一ノ事由ニ而夫ヨリ
吹ヤ迄ニ而ハ無之候得共其筋ニ付立寄候処 加藤神尾
ヲ過ル事ニ而ハ無之候得共其筋ニ付立寄候処 加藤神尾
多ク之事ニ而ハ無之候得共其筋ニ付立寄候処 加藤神尾
ヲ過ル

本書は国立国会図書館所蔵の原本を複製したものです。

一次後縣之吏ニ至ルマテ一ノ例ヲ作ルコトヲ肯ンセス後物ヲ宣ハス宣ハサル公
一
若松モ其後益不治ニテ冨強ヲ恃ミ三人暗殺ノ逆ヲ犯シ公ニ逃レ力如クニテ
幻騨中ニテモ仮令ハ勲遷ノ代ル人ヲ待テ事ヲ行ヒ其一ノ根
ヲ絶ントスル如キ事ハ一ノ遅事ニ稍ニ冨ヲ述ルニ今ニ至ルマテ二ノ者ヲ
一
中村六月中旬落ノ時武敏添書ヲ神保ニ遣シ直ニ今般一旦御徳書ヲ
巡察ノ来ルヲ以テ第一書ヲ出シ迎ヒ
弘敏完治ノ如キ神保某ノ手ヲ待テ
改ムル事ニ非ス
武敏ハ甲府ノ新庵ニ
住ス事実ヲ云ヒ
村氏ノ使ヲ以テ
後ヤラヌ故ヲ
ノ
一
加州巡察ノ
吠ノ者ヘトモ
トリ
当役ノ上席ニ在テ
ソレ
一
使リ
神尾ノ説ヲ
ヲ
ノ
一
加州ニ
ソレ
ノ
一
使リ
神尾ノ説ヲ
ヲ
ノ

一 神戸おろし同法司ト云時実ハ商賈ニテリくん心得 驛逓司ニテレ
ヒ行ト云カ又ハ荷物ヲ仕抜セハ又罪ニ問ハレヌ云中村ハ人ヲ殺シテ先ソ
為ニ走ル歟ト仕抜セハ又罪ニ問ハレヌ云中村ハ人ヲ殺シテ先ソ

一 中村ヨリ国産九谷焼急須一長生殿御所 慈広ニ一箱九谷鏑一
ハ徐国張ノ書ト云ル書ヲ贈ル中村ハ書生風ノ人ニテ此六字云
葉ヲ手紙ニ認メテ贈ル九谷焼ノ雅ナル事ヲ賞セシ為ナリ

一 長州産物取締役ニ而石ヲ利家ト云ル故ニ加賀ヨリ出ス品ハ
城処ト云祝ノ故ニ家ヲ利ト云ル而已ヲ得サル故ニ而ハ利家ト云ル

一 京師ニテ無頼大村某ヲ先頃剣ニ由テ遂ニ死タル由

一 松本芙蓉ニテ密謀ヲ以鯛鎧ヲ奪ニトス前有之由

ヲ作ル出スコトヲ得ル一ケ年ノ祝ト称シ毎年塩ヲ加ヘ信ルヲ以テ落ル様
ニ致シ置ケリ、ソレヨリ年ヲ経テ塩ノ色ヲ変ス又ニ年ヲ経ノ味ヲ変ス
此等ハ特ニ塩産ノ地ニ設ケタルモノカ兵事ノ武田氏ニ謀ヲ以テ
謎シタル様ニ云ヘ古ノ此等ノ事カ実ニ有シコトカ

一 [illegible] 倉廩ヲ満ス衣食足テ礼節ヲ知ル故ニ倉廩ヲ満スヲ以テ
[illegible] 一人ニテ作リ又ハ一人ニテ食スル者ヲ以テ
[illegible] 一人ニテ作リ又ハ一人ニテ食スル者ヲ以テ

一 [illegible] 中村ヨリ国産九谷焼急須一箱ヲ贈ル中村ハ書生風ノ人ニテ此六字ヲ
[illegible] 謎ニテ謎書ヲ認メテ贈ル九谷焼ノ雅ナルヲ賞セシ為ナリ
[illegible] 名ハ何トカ云ヒ堂号ハ何トカ云ヒ紀州ヲ去ル事一里ニ
[illegible] 王ハン一ヲ方ニ行ト云カ又ハ荷物ヲ仕抜セハ又罪ニ問ハレヌ云中村ハ人ヲ殺シテ先ソ
為ニ走ル歟ト仕抜セハ又罪ニ問ハレヌ云中村ハ人ヲ殺シテ先ソ

一 [illegible] 長州産物取締役ニ而石ヲ利家ト云ル故ニ加賀ヨリ出ス品ハ
[illegible] 城処ト云祝ノ故ニ家ヲ利ト云ル而已ヲ得サル故ニ而ハ利家ト云ル

一 京師ニテ無頼大村某ヲ先頃剣ニ由テ遂ニ死タル由

一 松本芙蓉ニテ密謀ヲ以鯛鎧ヲ奪ニトス前有之由

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一神尾公云高法司トナル時実ニ高貴トナリタル心得ヲ以行トカ女蕩士ノ人ヲ使テ利ヲ取ントカ思ハヽ又ハ為ニスル所アルヤ仕振ヤ又ハ口ニ喰ヒテ心服セシムルヤウ中村ヨリ国産九谷焼急須一箇丸乾鰯一箱ヲ贈ラル九谷焼ハ前国ノ名産ニテ清水焼ノ雅ナルニ不及菓子ハ四条ノ吉文字ト云ヒ美麗ナル点ハ昔物ニ似タレトモ又生物ニテ日ヲ経ルヲ嫌フ雇ヒ昔ヨリ四条ヲ俗ニ城ノ下ト云ヒ故ニ此名アリ

一長州産物取締ノ為ニ関所ヲ置キ通行ノ人ヲ改ムル事厳重ニシテ女蕩士ノ人ヲ使テ利ヲ取ントカ思ハヽ又ハ為ニスル所アルヤ仕振ヤ又ハ口ニ喰ヒテ心服セシムルヤウ中村ヨリ国産九谷焼急須一箇丸乾鰯一箱ヲ贈ラル九谷焼ハ前国ノ名産ニテ清水焼ノ雅ナルニ不及菓子ハ四条ノ吉文字ト云ヒ美麗ナル点ハ昔物ニ似タレトモ又生物ニテ日ヲ経ルヲ嫌フ雇ヒ昔ヨリ四条ヲ俗ニ城ノ下ト云ヒ故ニ此名アリ

一京師ニテ兵部大輔大村某ヲ先頃創ニ由テ遂ニ死ヲ免ル由

一松本藩ニテ密謀ヲ以朋類ヲ奪ントスル者有之由

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 須坂藩ヨリ救 大公之計劃リ管下三四ヶ所ノ藩皆使ヲ遣シ
弔ス 此ヨリ一層事多ク世ノ為ニ
一 本藩ヨリモ修ノ号報ヲ可減否ハ待来ノ一議トス後報ク
一ト雖ドモ多ク使ヲ以テ所ノ種々尤ヲ減シテ無刻ヲ
多ク若シ減則ハ名者多ク一ノ号作乱事起リ却テ世ノ
為ニ不宜ト已ヲ得ス半減ニ不倫故猶練ヲ不為ものなり
一 藩治改制表完本ヨリトス云モノニシテ示ス者ヲリテ記ス大坐等ノ四等ノ
等ヲ天ノ地ノ祇ノ万ノ字ヲ用ヒ大ニ一ノ記ヲリ
未タ之ヲ実用ニ至ラス然ト雖ドモ此ノ施行ヲトス云ハ
一 或人云大久保ノ帝ニ去刻ノ作ヲ南ノ堀ヲ埋ヨリ中ノ辻近道ヲ作ヲ入口ヲ
乞ヲ已ノ桜島噴火ノ話ニ十間ノ幅ヲ埋ヲ金ヲリテ尾ヲ苗月ヲヲ得ヲ国ヲ

宮家ヲ新築ヲ実効ヲ不勉虚損ヲ免スルヲ又本町幸物ヲ吟ノ如キレいなり
一 又云鉄ニ道ヲ布ク実ニ再挙ノ字ヲ羅ノ断ノ後ニ且中ノ条ヲ籍ヲ
多ヲ話ヲ以テ水陸道標ヲ来ニ月ニ至ラヒいまこんニ及ヲ尾ヲ共ヲ
高積水陸道標ヲ来ニ月ニ至ラヒいまこんニ及ヲ尾ヲ共ヲ
スノヲ今不熟ヲうニハ七月人ノ家知ラル処ニ実ヲ始ニ来ヲ始ヲ已ヲ
当初二十五年ニヲ名ニテ云ヲ時ヲ者ニ廿二年ニヲ名ヤ云ヲ
白米二十五年ニ七十八月ニ雲ハ汚ヲ来ヲ南利ヲうニ〇ヲ
外ヲ他ヤ僅ニ一二芭ノ俵ヲ来リ高多ヲ祈レテ一芭半芭ヲ五十ハ不拾ヲ七〇山中村ニ
夫食不足ヲ今ニ及ニ牧畑セス全ノ家ヲ之ニ至ニハ弥ヲ久ヲ認ヲ
大望ヲ新富ヲ来多ヲ如ヲ来ラス実ニ雲ヲ得ヲ
一 英吉利天竺仰度ノ仏ノ説ヲ 又本邦通用ノ楮幣ヲ造ルヘキ後記ヲ金館新

化ヲ奉鋳造ノ事ヲ議シ其ノ可否ヲ決スルニ至リ又曰ク七ノアリ之ヲ損益勘考シ而シテ後ニ之ヲ施行スルニ至ルト雖モ其ノ例アルヘカラス三国交通勘ノ法別ニアルヘシ

一 今津家名ハ八万或ハ九万石ノ賜アル由

一 衆議院今般ノ議ノ日午飯ヲ喫シ畢リ直ニ各自憤然ヲ以テ銭ヲ出シ或ハ堂ニ登リ或ハ階ニ立チ或ハ庭ニ下リ或ハ門ヲ出テ或ハ茶店ニ入リ或ハ便所ニ往キ或ハ手ヲ洗ヒ或ハ口ヲ漱ク等ノ如ク頗ル紛擾ノ状アリ

一 薩州兵ヲ東京ヘ一説一大隊ヲ大砲一座東京警衛ノ為メ出張ノ事ニ付尚詳細ノ事ハ親自ヲ隊ヲ将トシ二門ノ砲ヲ備ヘ出張ノ筈ノ由一大隊ノ内ニハ何方ヘ出張スルカ官報ヲ給ヒセンメ総名ヲ以テ行幸数、有之由英公子帝ニ謁ヲ乞ンヤ已ニ其ノ手

一 上田紀事ニ曰ク宮内省ニ皇太子殿下又勢多宮ニ京坂ヲ見ル云々ハ長州ヘ行幸ノ事ニ付テノ事ニ非ス

一 地球一世界ノ気運初メ西方ノ盛ニシテ賢俊英傑ノ士多数輩出シ洲ヨリ洲ニ及ヒ漸次ニ東漸シ来リ今ヤ亜細亜ニ及ヘリ

大都ヒ耶蘇降世一千八百余年ノ歴史ニ於テ僅ニ宮子許ノ方洲ニ過キス而シテ其ノ盛ンナル亦西方ノ盛ンナル所ニ及ハス然ルニ今ヤ亜細亜ニ於テ又漸次ニ東漸シ来リ今ヤ亜細亜ニ及ヘリ

一 計ラス英偶カヲ以テ之ヲ挫キ勢ヒ西ニ出ントスルヲ拒ントスルハ似タ大海ノ戦功ヲ壱ニシ物ヲ賜或ハ五ケ或ハ三ケ石ノ差アリ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

一 仏国兵事錄造ノ事ヲ不設ヲ盛勧ヲ告
ル下西洋ニ例アルヘカラス三国交易勧ノ法別ニ
物貨ニ盈勝ヲ為ヘシ

一 今津家名ハ八万或九万石ノ賜有ル由

一 衆議院今般ノ議ノ日午飯ヲ吃シ畢リ直ニ各自帰宅ス
ル如ク頗ル快ヲ覚ユ

一 差別兵ヒ東京ノ一説十一小隊徴兵ノ修ヲ畢ヘ
座東京ヲ警衛セシムト云ヒ一説一大隊ヲ生ス
セシメ総名ハ御親兵ト称スルカ官報ヲ給ヒ

一 立憲政体ニ行幸数、有之由英公子当春ヲ
ヤ已ニ

一 上局勅事ニ宮内省ニ皇太子ノ学校見有ヲ
ル由

一 薩兵隊東京警衛被命ノ事親自ヲ隊ヲ将ヒ
ヲ其ノ対象ノ兵ヲ率ヒ
隊ヲセシ都下又警ヲ
一 地球一世界ノ気運初メ西方ノ盛ヒテ
其後西漸シ東ニ至リテ細亜洲ニ及ヒ又東漸シテ
豪傑ヲ生セリ是ヲ百年乃至二三百年中復西漸シ
時勢ニテ来ル豪傑生ル歟仍テ保養セラレ、必ス
及ヒテ又ヲ回ニシテ云々略ニ近来支那等ノ勢ニ
ヲ考トルコトヲ急ニ亜ノ争我ノ有ニ
計ヲ英偶カヲ協セ
一 去ル年ノ戦功ヲ賞セラレ物ヲ賜或ハ五千或

日誌九十七八九号ニ當無 録ヨリ追テ入ル可シ
ヨリ先 八十三号ヨリ至ル十号合冊ノ時ニ入ル可シ

[illegible]

吹キ千立ノ高ヲ掃ヒ
正實寄松ト植セシ行路ノ品ヲ指テ右鋭ヲ移ス
移ス事ヲ報ス
ホタ条ヲ逐ヒ浮ヲ
ヒ逐フ地ヲ
仏ヲ佑ス
一 薩州兵時断ヲ
一 水府青山氏 ヲ招ク我学校教授トセンカ為ニ此人ヲ
ノ招ニ應スヘキヤ 日本ノ活法ヲ移ス為ニ朝官一ノ来ルヲ俟又有ラハ

(三) 加茂藩神保氏芝台書 七月八日金澤ヲ發シ若松ニ贈ル 東京四ツヤナ十月九日達和次二書ニ因

纔ニ之ヲ生ス輪湯滅生ヲ相違ヒ拝見仕ル如命残暑ヲ犬ヲ厚ク清キ兎角不肖ヲ
如益ヲ以テ清祥ヲ
相生ヲ京後不
四像衆ヲ迎ヒ
建ヲ
寺藏ヲ
莊心ヲ
ヲ全ヲ
異ヲ孤生不計 天軍ニ乃ヲ
只今ヲ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

石ホ書奥布石ト云古ノ壹田ノ例ヲ用ヒテ二ト云

一本藩ニテズイツウ銃　長沼式小銃　村代ホ小銃ヲ用ヒ千五百挺ヲ購ヒ又ハ製造セシメ正實堅ク和ト稲七ヲ混合シ仍テ品質ヲ選ビ貸与ス此ヲ称シテ別ニ移管ト為シ更ニ其ノ手ニ移管ス此ヲ称シテ

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

836
209
3

国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『不懲迷語並外録』　請求記号 836-3